

「交流サロン」だより in 大仙 10月号 2025

今、「そば」の刈取の最盛期をむかえています。あまりにも「熊」の出没が身近で起きすぎて怖さを感じながら作業をしているのが現状です。新聞を聞くと驚くほどの出没件数に、自然がなんでこんな風になってしまったのだろうと嘆いてしまいます。私たちが「そば」を栽培して10年近くなりますが耕作放棄地が増えている現実を目の当たりにしてきました、農業をやらなくなつて、一年もすると、雑草が生え藪になり、三年もすると森になってしまいます。高齢化や後継者がいない厳しい現実、荒れてしまった農地や里山、熊が怖くて自然の恵みである「きのこ」などを採りに行くこともできない今、総合的な対策が必要な時期に来ていると思います!!と綴ったこの四日後、木原官房長官、石原環境大臣らが熊対策を論じ始めました。私は、以前から自然災害の一つとして考えていました、個人の力では無理があります。昨日も今日(23日)も朝八時から広大な農地と敷が点在する中で大型のコンバインを保守点検して、露が上がったら刈取作業を始めます、その間一人、気が気ではありません!!皆さんもどこで遭遇するか分からないこの災害に要注意喚起です!!

マイフォト「秋の日はつるべ落としのごとし」

令和7年10月23日16:28頃



この日は、日の入りが、午後四時四八分、「こまち」の通過時間が後二十分程遅ければ、真つ赤な夕焼け空に染まる「こまち」の画が見られたかも?列車の動きと自然界の動きを想い通りにとらえるのは、至難の業です、だから、願いが叶った時の喜びは、自己満足ですが何にも代えがたいものがあります!!東京駅から三時間かけて来て、残り、大曲そして終点の秋田駅まで四十分足らず、安心感からなのかのんびりと余裕で走っているように感じました。

マイフォトに一言

11月の交流サロン
11月23日(日)
「折り紙」
展示作品制作します!!
皆さんの協力宜しく
お願ひします
時間 10~15時
場所 はびねす大仙
参加費 三百円
小学生以下無料

今月の「交流サロン」から!!

ひと月空いただけで暫くぶりに感じた今月の開催、参加者の元氣そのな姿に安堵の思いがこみ上げました。今回も「であいの花」の制作でしたが、毎年この作業を行うと秋が深まって間もなく冬の到来かな?そんな季節感を持つようになった最近です。地球温暖化で春と秋が短くなって四季がなくなりつつある昨今、人工的なもので四季を感じる時代が来るのかなー・・・さて、お陰で米は例年並み(当関係宅)味もよかったので当サロンの昼食メニューは、新米を使った「だまこ鍋」としました。(季節感たっぷり)



「であいの花」追い込み中



本日は「だまこ鍋」定食

【本日の昼食】
メイン:「だまこ鍋」(ゴボウ・糸コン・セリ・ねぎ・鶏肉)、副菜:柿と玉ねぎのサラダ・サツマイモと薩摩揚げの煮物・洋梨のデザート やはり新米の時期に食べる、「きりたんぼ」や「だまこ」は格別感があります、米の国秋田ならではの郷土料理です!!秋ならではの素材、「柿」「サツマイモ」「新米」を各一品に使った今日の昼食でした。当サロンではイベントに合わせた作業が多いなか、楽しい昼食もありますので皆さんの参加お待ちしております!!

東日本大震災による避難者を

支援する秋田県南連絡協議会

発行 「大仙フレンズ」 担当 高橋 和美

連絡先 〇九〇九六七〇二八五二